



2024年11月1日

## 尋常性乾癬治療剤「ドボベツト<sup>®</sup>軟膏・ゲル・フォーム」の販売提携契約終了に伴う 協和キリンからレオ ファーマへの販売移管についてのお知らせ

レオ ファーマ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：クリス シスネロス、以下「レオ ファーマ」）と協和キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮本 昌志、以下「協和キリン」）は、尋常性乾癬治療剤「ドボベツト<sup>®</sup>軟膏・ゲル・フォーム」（一般名：カルシポトリオール水和物／ベタメタゾンジプロピオン酸エステル配合剤）の本邦における販売提携契約を2024年12月31日で終了することをお知らせします。

協和キリンとレオ ファーマおよびその親会社である LEO Pharma A/S は2013年12月にドボベツトに関する販売およびマーケティング提携に関する契約を締結し、レオ ファーマは、製品の製造販売を、協和キリンは、販売並びに医療機関への情報提供活動を担当し、マーケティング活動についてはレオ ファーマと協和キリンが共同で行ってきました。

今回の契約終了に伴い、協和キリンによるドボベツト<sup>®</sup>軟膏・ゲル・フォームの販売は2024年12月31日で終了します。2025年1月1日以降はレオ ファーマが引き続きドボベツト<sup>®</sup>軟膏・ゲル・フォームの製造販売およびマーケティング活動を行い、新たにMRによる医療機関への情報提供活動を開始します。

### ドボベツト<sup>®</sup>について

ドボベツト<sup>®</sup>は、尋常性乾癬の外用剤として、レオ ファーマの親会社である LEO Pharma A/S が開発し、軟膏が2001年にデンマークで、ゲル製剤が2008年に米国で初めて上市されて以来、世界中の多くの国\*で販売されています。本邦ではドボベツト<sup>®</sup>軟膏が2014年9月、ドボベツト<sup>®</sup>ゲルが2018年6月、ドボベツト<sup>®</sup>フォームが2021年6月より発売されています。

\*ドボベツト<sup>®</sup>販売国数：ドボベツト<sup>®</sup>軟膏 56 ドボベツト<sup>®</sup>ゲル 58 ドボベツト<sup>®</sup>フォーム 41

### ■レオ ファーマについて

レオ ファーマ株式会社は、デンマークにある LEO Pharma A/S の100%出資の日本法人として、2010年6月に設立されました。皮膚科領域に特化したスペシャリティファーマとして、日本での確固たる地位を築くべく、事業活動を展開しています。詳細は、<http://www.leo-pharma.jp/> をご覧ください。

### ■協和キリンについて

協和キリンは、Life-changing な価値をもつ新しい医薬品や治療法を創出し、患者さんへ届けることに真摯に取り組んでいます。日本発のグローバル・スペシャリティファーマとして、70年以上にわたり医薬品の創出とバイオテクノロジーの革新に貢献してきました。現在、高いアンメットメディカルニーズを解決し得る次世代抗体および遺伝子細胞治療の開発に



取り組んでいます。特に骨・ミネラル、血液がん・難治性血液疾患、希少疾患の治療法の研究開発に注力し、また他領域で活用され得る研究成果についてはパートナーシップによる価値最大化を目指します。協和キリンは共通の価値観のもと、持続可能な成長を実現し、人々に笑顔をもたらすために尽力します。

<https://www.kyowakirin.co.jp/>